

八戸商議所

八戸学院大講座

講師に経営者派遣

人材確保、地元定着目的

八戸商工会議所(武輪俊彦会頭)は本年度、八戸学院大が開講する講座に会員事業者の経営者や実務担当者らを講師として派遣する。学生に地元企業への関心を高めてもらい、人材確保や若者の地元定着につなげる。同商議所が高等教育機関に講師の派遣協力をするのは初めて。

人材育成や研究促進のために産学連携の重要性が高まる中、八戸市内企業の魅力をPRし、学生に働くことの重要性を学んでもらう

のが目的。

講座は、同大の社会人に必要とされる能力を磨くカリキュラム「キャリアアデザイン」で実施。企業の魅力や海外とつながる事業など、実体験を交えるなどして講義する。各回90分を想定し、年度内に複数回実施する予定。

武輪会頭は「地域への定着率が高まれば企業側にもメリットがある。求人に向けてPRする機会だ」と意義を強調。同大は「学生が地元で働くことに関心を高めてほしい。将来的には地域の企業や高等教育機関と一緒に、学生を育てていきたい」としている。

(柴田佳弥)